

ハワイのロングステイについて

報告:海老名 芳行

今回はオアフ島、特にホノルル近辺についてご報告いたします。

(1) 宿泊施設

ロングステイする場合、一番の課題はよい宿を探す事ですが、ハワイの場合は他の地域とやや異なった特殊性があるようです。Waikiki エリアなどでは、一つの高層ビルの中にホテルと貸コンドと居住者用の部屋が混在している事があります。

今回私達が滞在したところもこの類いで、1BED ROOM の部屋を私達は月極めで2500\$で借りましたが、同じタイプの部屋を使った孫達は一泊270\$余りでした。一番良い方法は月極めで1~3か月、できればオーナーから直接借りる方法です。ただ、オーナーから直接借りる場合はカードが使えず、現金かTCで支払わなくてはならないことが多いと考えてください。オーナーから借りる場合は、Waikiki エリアでも Studio(いわゆるワンルーム)で月に1200\$ぐらいから借りられます。

何れも家具大型冷蔵庫、調理器具、食器類、洗濯機、プール、バーベキュー施設などすべて揃っています最近、一般のコンドでも一部に一月単位で貸し出すことを認めている所もいくつかあります。Waikiki を離れたアラモアナ、ワード、その他の地区などのコンドは何れも新しく間取りも広くて最高の設備が施されている上に、一般の旅行者等は出入りしませんので、大変静かで快適な滞在が出来ます。

もちろん、こういう所も部屋にはすべての必要なものが完備されていますので、自分の家と同じ感覚で生活する事が出来ます。ゴルフレンジ、プールやフィットネス・ジム、バーベキュー・エリアなど何れも豪華で自由に利用できます。Honolulu の街中から少し外れた地域、例えば Pearl City の方に行けば、2BED や3BED のタウンハウスなどが非常に割安で借りられることがありますので、家族やグループなどの滞在には向いているかもしれません。

オアフは虹の島と言われるほど常に虹がかかりますが、それは Honolulu の中心部やハワイ大学のある山側の話で、僅か10キロほど離れたハワイカイなどに行くと乾燥地帯で雨はほとんど降りませんので、海岸ベリやマリンスポーツがお好きな方はこういう場所を選ぶことも良いかも知れません。Waikiki の雑踏とは別世界ののんびりとした静かな滞在が出来ます。但し、こういう部屋を借りるのにはかなり前から予約する必要があります。その他、個人で自宅の一部や持っている部屋を貸してくれる人もいますが、一見では難しいかも知れません。

ハワイの新聞や無料の雑誌などにも沢山の貸し物件が掲載されていますが、何れも仲介業者を通して借りることになります。賃借料も安いものは月額500\$ぐらいからありますが、殆どの所は

長期契約(6か月以上)を条件にしていますので、ロングステイヤーには向かないかも知れません。

もし、今度の冬以降にハワイ滞在をお考えの方がありましたらご一報いただければいくつかご紹介できる所が見つかりましたのでご連絡ください。年末年始を含めてもでも同一料金で利用できます。但し、交渉、契約などは自己責任で直接していただきます。交渉の方法、注意点など解る範囲でお手伝いいたします。何れにせよ、ハワイの宿はピンからキリまで千差万別ですから、ご自分の予算と希望に合ったところを選んでください。条件の良い宿を探すのには少なくとも3か月、あるいはそれ以上前に予約する必要があります。

特に年末年始、ゴールデンウィーク、お盆のシーズンなどのWaikikiは日本人観光客が殺到しますので、早めの予約をすることが大切です。ハワイは1年を通して世界中から旅行客が押し寄せますから、年間を通していつもオン・シーズンですので、時期によって特に割安になる期間というのはありません。一番賢明な方法は、年間契約で借りて何人かで交互に利用する事でしょう。

特に、日本の観光シーズンは飛行機代が跳ね上がりますから、そういう時期を少し外して行き来するように工夫すればかなり節約でき、ご夫婦の場合なら部屋代ぐらいカバーできるかもしれません。この8月から中国本土からの直行便が飛ぶようになって、中国人の富裕層が不動産の買いに走るのではないかと噂されていますが、今のところ大きな動きはありません。

(2) 交通

オアフ島はThe Busという公共の交通機関が全島を網の目のように走っていますから、これを利用することをお勧めします。車いすの方でもバスに設備が完備されていますから全く問題なく乗れます。65歳以上はパスポートを持って行けば\$15で4年間有効のパスを造ってくれますから、後は滞在中月に5ドル支払えば乗り放題です。65歳未満でも30ドル程で月極めパスが買えます。一回毎のバス代は2.5ドルですが、乗り換え切符をくれますのでどこまで行っても同じ料金です。

レンタカーは、Avis や Herts 等大きな会社で借りるとかなりの金額ですが、小さいレンタカー屋さんで借りると月に1000ドル以下で借りられます。但し、日本人の経営するレンタカーは観光客相手にボッタクルところがあるので注意が必要です。私も最初知人の紹介でワイキキの日本人業者から借りたら、月に3000\$も取られたので途中キャンセルしましたが、キャンセル料が高くて揉めましたが、結局全額取り返しました。日本人客はみな短期滞在が多く、加えて時差ボケの問題などもあり、レンタカーに限らずいろいろな業者の良い餌食になっている部分があるようですので、ロングステイヤー向きの情報を得ることが大事な気がします。

(3) 生活

ハワイには既に多くの方がおいでになっておられると思いますので、改めて取り上げる事もないかもしれませんが、生活面では日本とほぼ同じ感覚で過ごす事が出来ます。よくハワイは何でも高いと言われますが、それはワイキキなどの観光客を対象にしたところの話で、ロングステイで暮らすように生活すれば、日本よりもかなり安い費用で快適な生活が出来ます。日常の買い物はたくさんの Shopping Mall がありますし何でも揃います。そして日本に比べてかなり割安です。

日本食材も、Nijiya, MARUKAI, ドンキホーテ、白木屋などで何でも手に入ります。特に Nijiya は日本食材の情報に精通しており、日本でも手に入りにくいような物が並んでいて感激したりします。白木屋は最近はや容が変わって日本食のフードコートみたいになってしまいましたが、それでも日本各地の有名な食べ物を入手出来ます。また下町の中華街に行けば新鮮な肉、魚、野菜、世界中の果物、雑貨などが安価で入手出来ます。

南国の果物が豊富で安く買える事はもちろんですが、新鮮なハワイの生マグロの美味しさはぜひお勧めです。私は中華街の中にあるマグロ専門店「TAMASHIRO」に週に2度ほど通ってハワイのマグロを堪能しています。また、ハワイは世界中の食べ物やレストランが豊富にあるグルメ天国でもありますので、Take Out や食べ歩きも日本に比べて非常に安上がりです。但し、何回も言いますが、Waikiki 周辺は日本人旅行者が対象ですから当然のことながら値段はかなり割高ですので、地元民がよく利用するところを選べば間違いありません。

ハワイ大学に近い Waialae Ave, S.King St. 等には安くて美味しい各国の料理を食べさせてくれるレストランが集中していて一寸したグルメ街道です。

ここではいちいち店名を挙げませんが、ご希望の方にはガイドブックには載っていない私なりの食いしん坊ガイドをさし上げます。

ただ、特に Waikiki 地区などでは日本人客に対しては最初からチップを加えて会計書を出すところが多いので、チップの2重払いにならないように注意が必要です。チップは慣習ですが法律ではありません。

ハワイは1年中同じような気候ですから、半そで、短パンで生活できますし、長ズボンとアロハシャツが1枚あればフォーマル・ウエアとして通用します。ただ、冬場は夜に多少冷える事もありますから長そでシャツも1枚用意される方が良いでしょう。

ちなみに、夏場の最低気温は22~3°、最高は28~30°Cぐらいですが、湿度がないので蒸し暑さは全く感じません。

電気製品は日本と同じものが使えますが、急須、お湯呑、お茶碗、お椀、小皿、お醤油皿などは用意されていませんので、日本から持って行くか、チャイナタウンなどで安いものを買います。包丁類は切れ味が悪いので日本から持参します。

買い物、例えば衣料品などは ROSS、RUCK などアメリカ本土のディスカウントショップが進出していますが、これらも Waikiki を離れたダウンタウンや Pearl City の店に行くとかかなり安く買えるようです。

COSTCO も何か所かありますので、ロングステイヤーには安価で有難い買い物ができますが、量が多いので注意が必要です。MARUKAI も同じようですが、こちらの方が日本人向きのものが揃っています。

昔のダイエーの後に出来たドンキホーテは日本の店同様安いですが、品質は上等ではありません。

ロングステイで心配な事は医療機関ですが、ハワイではその心配は無用です。

大きな総合病院から専門医院まですべて揃っており、日本語対応も出来るようになってきました。私も今年になって、眼科、歯科、リハビリ科などのお世話になりましたが、何れも時間予約制ですから待つこともなく、治療費も日本に比べて高いとは思いませんでした。また、保険の手続きもしてくれますから、一旦は現金で支払っても帰国後保険で補てんが出来ます。

(4) ゴルフ

ハワイはゴルフが高いとよく聞きますが、島全体が観光地ですからある程度やむを得ないとしても、カマイナになるなどすれば現地人割引でかなり安くできます。

また、HISLEA (ハワイシニアライフ協会) などに加入すると割引料金でプレーできるようですからそれらを利用することも良いでしょう。マウイ島にも支部があり、頻繁にゴルフ会を催していますので参加することも出来ます。

ちなみに、私のロコの友人はマウイ生まれですが、オフィシャル・ハンディが5とか7と一緒に遊んでくれる人がいないと嘆いていますので、彼等みたいな半プロ並みの連中を利用して安く遊ぶ方法を探すのもいいかも知れません。

ワイアライ CC などの有名なプライベートコースは高額ですが、ローカルのパブリックコースに行けば安価でプレー出来る所も沢山あります。

ハワイのゴルフは日本と違ってクラブハウスで食事をしたりせず、一気に1ラウンドを回るのが普通ですから、観光業者などに頼らなければそんなに高いものでもありません。

(5) その他のアクティビティー

HISLEA には現在1000名を超える会員が在籍しており、毎月沢山のイベントが用意されています。

ゴルフを始め、様々なマリンスポーツ、トレッキング、気功エクササイズ、詩吟を楽しむ会、茶の湯、ヨットクラブでの食事会、ファースト・フライデーなどたくさんのイベントがあるので自由に参加できます。ロングステイヤーは世界中の各地に滞在されていますが、HISLEA のような確りした非営利団体の組織があるのはハワイぐらいでしょう。

それだけハワイがロングステイの場所として人気があるという事かもしれません。確かに1年中暑からず寒からずの温暖な気候は、気温の変化に激しい日本に比べまさに天国と言えるかもしれません。

また、英会話、フラダンス、ハワイアンキルト、ヨガ、ハイキング等たくさんの教室が各地で開かれており、コミュニティー・センターなどで行われる物は無料か実費程度ですから気軽に参加できます。特にご婦人方向けの催事や企画が沢山用意されていますので、退屈することはなさそうです。HISLEAは、8月末から9月初旬にかけて第3回 HISLEA ウィークなるものを開催し、たくさんのイベントを企画していました。人気のあるイベントは満員で参加できませんでした。

ご興味のある方は、 <http://www.hawaiiseniorlife.org> をご覧ください。

日本の支部は関東、関西、北陸などにあります。またホノルルを中心に、ハワイのおもな島でも多くのイベント、教室などを用意しています。仏教会やキリスト教会などの様々な宗教団体もいろいろな催事をやっていますので、そういう機会を利用するのも一策でしょう。

以 上